

ALL for ONE

Corporate Communication Magazine

Vol.7

年頭所感
～創発の海へ～

NIPPON KABAYA OHAYO HOLDINGS INC.

年頭所感

「愛情と覚悟」のブランドを

日本カバヤ・オハヨーホールディングス株式会社

代表取締役社長 野津 基弘

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中は多くの方々にご尽力をいただき大変お世話になり、ありがとうございました。

現在、世界最大の関心事は、多くの予想に反した形で、トランプ次期米大統領が誕生したことかと思えます。彼の発言の帰結するところは、世界平和へのヒューマンイズムの幻想を捨て「偉大なアメリカを取り戻す」であり、「現実主義に立ち戻り、自国の利益に貢献する」で実にシンプルです。

要は、米国の利益にならない他国の依存は寄せつけず、相互利益になる「軸」を持つ国家とはしっかり取り組むという立場を明確にただけです。この切り口は日本を振り返る良い機会でもあります。GDPは世界第3位で約539兆円。外需約13%に対し、内需約87%です。

内需が多過ぎることはなく、製造業を始めとし雇用を生み出す経済構成は、言うならば“最優良の国家モデル”であり、対外債務は約6%に抑えている自立自尊の国家であるだけでなく、対外純資産残高は366兆円、24年間連続世界1位である国力は誇るべきと考えます。

我々は、この誇るべき日本国に軸足を置き、世界に通用する企業経営を目指します。人・商品・サービスにおいて「愛情と覚悟」を以って、限りない可能性を追求するために、昨年4月にグループ各社を統括する「日本カバヤ・オハヨーホールディングス株式会社」を設立しました。

そして「真の欲求を究めて、ホンモノをカタチにする」をブランド戦略に掲げ、中・長期経営計画を策定いたしました。取り巻く環境や情勢がいかに変化しようとも、ブレることのない「軸」を以って、自国のことは自国で、自社のことは自社で、我々は「誇りあるブランド」を構築してまいります。

明けて「酉（とり）年」が、皆様にとりまして、より飛躍の年となりますよう祈念し、新年のごあいさつとさせていただきます。



大いなる航海へ

雲一つない晴天に恵まれた昨年12月5日。

日本カバヤ・オハヨーホールディングスが挑む創発の海への船出に
ふさわしい日となりました。

今はまさに群雄割拠の時代。企業が生き抜くには熾烈を極めます。
荒波を突き抜けて貫く航海がここから始まります。



HLDGS 設立披露パーティー 社長挨拶

ただいまご紹介に預かりました、日本カバヤ・オハヨーホールディングス株式会社 代表取締役社長 野津基弘でございます。

平素は格別のご高配を賜り、誠に有難うございます。また本日は師走のお忙しい中、平日、月曜日にもかかわらず、このように大勢の方々にご臨席賜りましたことに心より深く感謝申し上げます。

私たちは皆さまのご協力のもと独自の成長を続けて参りました。オハヨー乳業、カバヤ食品をはじめ、グループ各社の設立の経緯や企業文化、社風、業界、業態それぞれ違う企業を1つのグループとして経営する為の有効

な手段として、この度2016年4月 日本カバヤ・オハヨーホールディングス株式会社を発足致しました。

その構想から実現には19年もの時間を要しました。私事になりますが、その間、様々な局面があり空白の時間もありました。ただ、その過程において、今を共に歩む、社内外を超えたかけがえのない大切な方々、そして大切な仲間を得ることができました。空白の時間も様々な方が見守り応援してくださいました。だからこそ自分の信じる道を今まで貫くことが出来たのだと感謝しております。

皆さまへの感謝を胸に、これから私たちは自分たちの信じる道を、信じる仲間とともに、実行に移して参ります。

先月11月25日にグループ6社の東京本社として、千代田区紀尾井町に移転して参りました。

岡山から発した企業であり、真の地域貢献とは、事業を通じて人を育てることに他ならないと考える我々は、地方にあることの強みと、世界の中心である東京にも本社を構えることで、井の中の蛙となることなく、社内外の方々からの刺激を頂き、HLDGSを中心にクリエイティブ部門を統括、日本、そして世界に通用する企業へと発展する所存でございます。

私たちグループが目指すのは、極めてシンプルです。「人の幸福とは何かを見つめ直し、世の為、人の為になることをする。」それは、祖父 野津克己から始まりました。日本が敗戦国となり満州から帰還した祖父が目にしたものは、進駐軍がジープの上から配るチョコレートに群がる子供たちでした。戦争には敗けたかもしれないが、誇りまで失ってはいけないと、カバヤキャラメルを発売。日本を背負った、日本人としての誇りを戻すという大事業を成し遂げました。

それを支えた父 喬、先達たちが継承してくれている「現場のチカラ」と「技術」を活かして未来を切り拓いていきます。その為にグループを繋いでいくのがこのHLDGSとなります。それぞれの企業には多様性があり、卓越性を備えていることを強みにしております。各社ヒエラルキーや売上の規模如何に関係なく、並列と考え、人として繋がり、成長していきたいと思っております。新しい価値を生み出し、伝えていくのは人。経営とは人づくりそのものであり、ブランドそのものでもあります。HLDGSは人を通じて現場と直接つながります。例えば代表取締役といえども、それは役割のひとつに過ぎません。私自身、肩書きの関係ない議論が大好きで、時間があれば忙しい人を捕まえては、迷惑をかけています。

私も「グループ存在目的」の下に位置しています。確固たる目的追求という1つの大きな方向に向かって、上場企業ではないからこそ自らを律し、目先の業績に捉われず、長期的視野に立った政策を継続していきます。デフレ経済の時代は、本当に良いものを作っても売れない、必要ない、伝わらない、苦しかったと思います。しかし、今は、まさにホンモノにこだわってきた強みが発揮できる時代ではないでしょうか。本当に良いもの、時代を超えて人

の心を震わせる、本、映画、音楽、そして人類を救う可能性をもった発見と技術の革新があります。ホンモノを世に送りだして来られた方々への敬意を胸に、人間の持つ可能性を追及していきたいと思っております。

そして、我が国には世界の中でも類をみない2000年以上の歴史、伝統、文化があります。その国家観を誇りに、自信と勇気を以って、誠実に、愚直に、モノづくりそしてサービスに取り組み、世の為、人の為に尽くす、人として、企業として、共に成長して参ります。

祖父 克己がそうであったように、日本国、日本人としての誇りを持って、ニセモノではなく、『真の欲求を究めて、ホンモノをカタチにする』～ホンモノをお届けしていきたいと思っております。ここで、我々の中・長期経営計画の一端をご紹介させていただきます。

- ①おいしさ・フレッシュネス事業へのさらなる挑戦
- ②医と食のバランスを変える事業への着手
- ③木の温もりを感じられるCLT住宅事業への本格進出
- ④人格形成を軸とした、職業専門大学への挑戦
- ⑤The Royal World Project 3つのコンセプトでゴルフ界を変えていく

あらゆる可能性と成長性があり、お客様へお届け出来るよう、日々邁進してまいります。

本日ご臨席いただきました皆様と、日本の未来の為に役に立てることは何か、人としての繋がりにより、その夢や想いがカタチにされ、ワクワクして頂けることが出来れば、この上ない喜びでございます。皆さま、是非新しい東京オフィスにもいらして下さい。雑談から、よもやま話から、世界をより善くすることが生まれると信じております。

今後の日本カバヤ・オハヨーホールディングスグループへのご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、設立のご挨拶とさせていただきます。誠に有難うございました。



▲来賓祝辞 北白川道久 霞会館 理事長



▲来賓祝辞
衆議院議員・加藤勝信 一億総活躍担当大臣



▲乾杯挨拶
大日本印刷株式会社 北島義斉 代表取締役副社長



▲来賓祝辞 バイオガイア AB 社
アクセル・ショーブラッド 代表取締役社長

「世界基準」への決意を表明

日本カバヤ・オハヨーホールディングスは、昨年12月5日、帝国ホテル東京で設立披露パーティーを開きました。

前日から多くのスタッフが作業を続け、前室のブースを設置。イベントのシミュレーションも何度も繰り返しました。開催日当日まで細部にこだわり、イベントを成功させようとする姿は、世界に通用する企業を目指す集団として、確固たる意思で臨んでいることが伝わります。

来場者は取引先の企業経営者らを中心に1000人以上。グループ会社の過去を振り返っても、これほど多くの人を招待しての披露パーティーは、例がありません。参加した多くの社員は、誇らしさと同時に、緊張で表情がこわばっていました。訪れた人は、前室に設置されたカバヤ食品、オハヨー乳業、エス・バイ・エル・カバヤ、専門学校岡山情報ビジネス学院の設立からの歴史、過去に意思を持って創られた商品群に目を輝かせていました。そして、これから発表される未来に対し、多くの参加者から期待の視線が注がれる中、披露パーティーがスタート。

来場者からは絶賛の声

オープニングを飾ったのは、大倉流小鼓方十六世宗家、大倉源次郎氏の「鼓演奏」と、王家琉球舞踊代表者の一人、宮城茂雄氏による「祝舞」。会場が一時におごそかな空気に包まれました。我々の志に共感してもらった一流の方に来て頂いたことで、我がグループの目指すホンモノのカタチを参加者に共有してもらえたと思います。オープニングムービーでは、グループ会社の原点から食文化や住空間の向上、人格形成教育による人材育成に貢献してきたことやグループ存在目的の下、連携連動し世界を目指すグループ会社の未来を紹介。基弘社長のあいさつは、社会的意義をもって本当に必要な商品、サービスを実現し提供していくため「事業の発展だけではなく、社会に対して意思を表明する」という熱い想いが伝わってきます。

来賓祝辞では、北白川道久霞会館理事長が「社員一人ひとりが誇りを持ち、感動を生み続ける経営の下、世界に通用する商品やサービスの提供に期待します」と激励。加藤勝信一億総活躍担当大臣は「岡山県出身の山田方谷氏



▲鼓演奏 能楽 囃子方 大倉流小鼓方十六世宗家 大鼓方宗家預かり
(重要無形文化財総合指定保持者) 大倉源次郎氏



が重要視していた骨格、制度、仕組みをはっきりさせ、日本を背負い、世界へ羽ばたく企業になってほしい」とメールを送ってくれました。また、当日は、オハヨー乳業とスウェーデンのバイオ企業、バイオガイアAB社の業務提携を発表。同社のアクセル・ショーブラッド社長は「同じ考えを持った同志として、胸躍るビジネスを展開しましょう」と、パートナーとして協力していく意思を表明。基弘社長が従業員らに向けて発信している志だけでなく、今後の事業にも共感していました。そのほかにも多くの政財界人が我がグループ会社へ期待していることを感じました。

パーティーでは、社会と企業をつなげられるのは文化であり、文化を中心に人が集まってくることを伝えようと、松任谷由実さん、YMOをデビューさせたプロデューサーで作曲家の村井邦彦さん、歌手の一青窈さんによるライブを開催。見事に二人ともステージを降りるまで会場を一つにしてくれました。

最後に堀井秀則副社長は「これからが本当のスタートです。グループ存在目的の下、志を持ち、社会的課題を解決し続けなければならない。より社会に役立つ“ホンモノ”を



▲琉球舞踊 琉球舞踊伝承者 宮城茂雄氏



提供していきます」と力強くあいさつしました。

楽しみ、遊びの中からも築ける人間関係力を身に着けられ、本気度、文化度、遊び心が合わさった最高の披露パーティーだったのではないのでしょうか。

参加した多くの経営者は「大いに共感した。本当に期待している」と絶賛の嵐。これは我がグループ会社、全社員に向けられたメッセージにほかなりません。政財界、すべての取引先、これから一緒に事業展開する企業から、我がグループ会社に対する期待値がはね上がりました。これからは、社員一人ひとりがその期待に応えられるようにしなければなりません。それができなければ、一瞬にして「期待」が「失望」に変わります。現在の会社方針には、すべて理由があります。その方針を理解し、一分の隙もなくブランド構築していくことが求められます。

皆さん、もちろん準備と覚悟はできていますよね。不安があっても大丈夫です。過去の「ALL for ONE」を読み返せば、いろんな“答え”が載っています。大きな世界に向けての船出を楽しみましょう!



新春放談 第1回 (全2回)

若手中堅社員が基弘社長を直撃! グループ社員座談会

世の中は不安定だからこそ 軸を持って仕事をする！

「ALL for ONE」を創刊して約8カ月。グループ社員に向けて、基弘社長のメッセージやさまざまな事業の進行状況を伝え続けることで、社員の行動も変わり始めています。そこで、各社の20～30代の社員に集まってもらい、「ALL for ONE」を読んでの感想や理解できないこと、基弘社長のコメントで気になることなど、社員が今感じている素直な気持ちを基弘社長にぶつけてもらいました。

「ALL for ONE」を読んで率直な感想、各会社での反応を教えてください。

座談会出席者

野津基弘社長

(写真左から)

エクセルパック・カバヤ

石岡 佳大 (いしおか よしひろ)

生産部 次長

2002年入社 (15年目)

オハヨー乳業

松永 充広 (まつなが みつひろ)

東部営業部 東京支店 関東営業所

2002年入社 (15年目)

カバヤ食品

中沖 愛咲子 (なかおき あさこ)

総務部 人事課

2015年入社 (2年目)

オハヨー乳業

千田 ゆかり (ちだ ゆかり)

マーケット・バリュー戦略本部

研究開発室 研究・開発一課

2014年入社 (3年目)

エス・バイ・エル・カバヤ

原田 蓮 (はらだ れん)

営業部

RSKハウジングプラザ展示場

2013年入社 (4年目)

参加メンバーは、ALL for ONEのアンケートにさまざまな意見を書いてくれた人、自分なりに存在目的について考え、日々の仕事に取り組んでいる社員です

中沖 基弘社長のメッセージで「軸」という言葉がよく出てきます。カバヤ食品でも部署ごとに、存在目的やALL for ONEを読んで意見交換会を開き、カバヤ食品の軸とは何かをテーマに話し合うのですが、みんなの意見がバラバラで、これまで明確な企業理念がなかったことがよく分かりました。存在目的の下、各社員が軸を持ち、意見を出し合えば、生まれてくる商品もこれまでと違ったものができるのだと思っています。

野津 その通りです。今、カバヤ食品には「軸」がないのが現状です。披露パーティーの企業紹介ムービーにもあったように、祖父の野津克己は、戦後、日本の誇りを取り戻すため「Give me CHOCOLATE」から「We have CARAMEL」にしようと取り組みを進め、食から笑顔を取り戻し、世のため人のために尽くそうとしました。だからこそ、社名も「製菓」ではなく「食品」なのです。現在のカバヤ食品で掲げられている「子どもたちに夢を…」という言葉は好きではありません。抽象的で「軸」が見えない。夢を与えるために何が必要なのか分かりにくいのです。軸がないことを非難するつもりはありません。ないことを認識したのなら、創ればいい。そのヒントは創業時代にあります。

原田さんに聞きますが、エス・バイ・エル・カバヤの軸はありますか。

原田 エス・バイ・エル・カバヤも少し軸が見えにくいのではないかと感じています。例えば、当社は木質パネル工法と木造軸組工法の2つが主力商品ですが、部門が分かれているので、併売はできません。また、エリアによって展開できる商材が決められています。個人的には、すべての地域でいろんな商材を売ることができれば、一気にブランド構築できるのではないかとと思うのですが。

野津 確かに営業マンからすれば、いろんなアイテムを持つことで、提案できる幅が広がるでしょう。これまでエス・バイ・エル・カバヤは売り上げという「数字」を軸にしてきたので、そういう考え方になるのは間違いで



はありません。ただこれからは違います。存在目的の下、顧客の生活スタイルに合わせて提案するために、会社としてより戦略的に動く必要があります。例えば、エス・バイ・エル・カバヤは、ブランドによって価格帯が違います。これを全営業マンが併売すれば、必ず競合他社に勝とうと値下げ合戦になり、結果として安い商品だけが売れるということになります。販売エリアも一気に広げてしまうと、資材供給を一定に保てなくなり、営業展開する上でのスピード感もなくなり、他社を圧倒できなくなります。現在、営業力を維持しながら、ブランド構築をやり切るための中期経営計画を策定しています。これを理解しないで、営業すると元の木阿弥です。自分で価値があると判断した商材があるのなら、その部署に行かせてくれという気概を持ってほしいですね。

松永さんは、何か疑問に思っていることはありますか。

松永 グループ存在目的に関しては、理解しているつもりです。現在、それをオハヨー乳業に落とし込んだ時、オハヨー乳業独自のミッションがないのはなぜでしょうか。あえてつくっていないのでしょうか。例えば、自社

の商品を食べてもらうことで消費者を幸せにすることなど、事業会社ごとにも明確なミッションが必要ではないでしょうか。

野津 そうですね。ただ、商品ありきで会社がある訳じゃありません。社会的意義があって会社があり、その会社が商品を作るのです。そして、その商品が消費者に受け入れられているかを精査しながら、さらなる進化と成長を遂げることが重要なのです。今のオハヨー乳業は、現状の商品を一生懸命売るために、その商品価値と自分の仕事に対する取り組み方を肯定しています。精査がない状態なのです。だから進化と成長が止まっているのです。

石岡さんは、エクセルパック・カバヤの現状をどう考えていますか。

石岡 エクセルパック・カバヤは、ここ数年まで企業理念と呼べる軸がまったくない会社でした。基弘さんが社長に就任し、やっと会社としての方向性が見えてきたという段階ですが、新しいことに取り組んでいるという感じではありません。どうしても紙器、パッケージ

会社の枠から抜け出せない。このままの延長線上で、刺激のないまま仕事に取り組んでいていいのかと疑問に思っています。

野津 ALL for ONE で「刺激的な仕事をする」と書きましたが、何も新しいことをすることが刺激的な仕事とは限りません。一つのことを徹底的に掘り下げなければ、見えてこないこともあります。エクセルバック・カバヤは、まだ徹底的に今の事業をやり切っていない。やり切った後で、軸となるべきものがほかにあるのではないかと感じたら、何か新しいものが生まれるのではないのでしょうか。そこでBtoCのビジネスをやりたいならやれば良いと思います。まずは徹底的にやり切る。そのためには、突き抜けて貫いている同業他社を視察し、システムや技術を学ぶことも必要です。また、生産性を上げて早く仕事を済ませ、レクリエーションやアクティビティに力を注ぐことも刺激的なことにつながると思います。

千田さんは、ALL for ONEを読んで感じることはありますか。

千田 みなさんの話を聞いていて感じたことですが、グループ会社としての存在目的があれば、各会社の存在目的は必要ないのではないのでしょうか。

野津 では、質問です。千田さんは会社としての「強み」は必要だと思いますか。

千田 強みは各社が持てばいいと思います。ただ、グループの存在目的があるのであれば、それを軸に強みを

考えればいいと思います。存在目的は、答えを求めるものではなく、常に考えることをやめないためのワードだと思っています。考えることをやめてしまえば、何の成長にもつながりません。

野津 そうですね。存在目的をベースに各社が強みは何かということを考えることは必要です。ただ、何が正解なのかと答えを求め、自分の判断でその答えを導き出してしまうのは駄目です。思考することを止めてしまうことは許しません。目指す場所があって、そこへ行くために何が必要なのかは、常に考え続けてください。人間は生きている以上、頑張るのは当たり前なのです。現状に甘んじず、目指す方向を決め、そこを目指し続けること自体が自分を成長させ、生きていることを実感させてくれるのです。

松永 一つ聞きたいのですが、基弘さんの考えるミッションが「経営方針」で中期経営計画が「ビジョン」という考え方でいいのでしょうか。

野津 いいですね。もっと具体的にいいでしょうか。これはグループ共通の定義にしておきます。

- ①グループ企業における世界観が存在目的
 - ②そのための大戦略が「真の欲求を究めて、ホンモノをカタチにする」こと
 - ③戦略が経営方針
 - ④作戦術が中期経営計画
 - ⑤中期経営計画をどうやって実現するかが技術
- もし、よく分からなければ、いつでも遠慮なく聞きにきてください。

(次号につづく!)

次号予告

基弘さんが社員を質問攻めに!?

「今の会社好き?」「仕事楽しい?」「つまらない仕事を教えて!」

社員が本音を話す・・・次回乞うご期待!



「Communication × Speed=Innovation」を具現化するOffice365

露梨 潤

株式会社システムメイト
グループシステム課 主任



これまでのコミュニケーション基盤は、PC利用が前提となっており、社外での打ち合わせ後、社内に戻り、メールの確認や情報共有などを行う必要がありました。このような環境では、情報の伝達速度が遅れ、タイムリーな判断ができずに商機を逃すこともあったかと思います。また、就業時間が延びるなど、社員にとって、決して働きやすい環境ではなかったと思います。また、職場での作業時間が増えることで、実際の現場・市場にある生の情報に触れる機会が減ってしまい、結果として各社の競争力が落ちてしまっていた面もあったと考えられます。



さらには、4月にホールディングスが発足し、グループ経営を推進していくに際しても、各社が閉じた仕組みとなっていたため、横断でのコミュニケーションが促進されない仕組みとなっていました。

そこで、今回は「働き方改革」の一環として、「どこでも仕事ができる」環境を構築し、社員がスピード感を持ってコミュニケーションを活性化すべく、Office365を導入しました。

今回、使えるようになる機能は、メール、予定表、スカイプ、ファイル共有（ワンドライブ）の機能です。メール、予定表については、これまでのActiveMailと違い、マルチデバイス・



図1：メール・予定表の利用イメージ



図2：One Driveの利用イメージ

マルチプラットフォームに対応できるようになりました。これにより、外出先でもメール確認や予定の確認が可能となり、今まで以上のスピード感で、タイムリーな判断ができ、アイデアをより早く具体化することが可能になります(図1)。 ワンドライブについては、社内にある情報を安全に持ち歩くことができるようになります。また、ファイルの同時編集ができるなど、チームでの作業も可能となります(図2)。

スカイプについては、場所を選ばず、相手の顔を見ながらコミュニケーションができるだけでなく、資料の共有も可能となります。このワンドライブとスカイプを組み合わせることで、「コミュニケーション→個人作業→コミュニケーション」の働き方から、「グループでコミュニケーションを行いながら同時に作業を行う」ことができるようになり、「Communication × Speed=Innovation」を実現でき

る機能になると考えています。

今回リリースした機能だけでも、今までの働き方より生産性の高い仕事ができ、「作業に追われる働き方」から「発想に時間を割ける働き方」になると考えられますが、これはまだ働き方改革の始まりにすぎません。今後は、さらに「Communication × Speed」を加速させ、社内ナレッジを蓄積・共有するプラットフォームなど有用と考えられる機能の評価・検証を行い、必要な機能を順次リリースしていく予定です。

システムは、社員に活用してもらって初めて価値が出るものです。より働きやすい環境へ進化するためにも、システムに対する意見や不満は気軽に意見してください。自ら見つけた独自の使い方は周りに教えてください。よろしくお願いします。

MARRIAGES & BABIES

2016年 グループ会社社員の結婚・出産報告

MARRIAGES



1月1日

カバヤ食品株式会社 岡山工場生産一課第二係
長橋 昌宏



1月3日

カバヤ食品株式会社 九州支店鹿児島営業所
小西 啓介



1月23日

カバヤ食品株式会社 技術部OJT推進室

雲出 靖典

カバヤ食品株式会社 総務部総務課

雲出(早川) 美穂



3月15日

エス・バイ・エル・カバヤ株式会社 カバヤホーム水島店
湯浅 京太



3月20日

カバヤ食品株式会社 岡山工場生産二課第二係
河田 大輔



4月1日

オハヨー乳業株式会社 関東品質管理課

石田 裕幸

オハヨー乳業株式会社 関東品質管理課

石田(北島) 未季子



4月6日

エス・バイ・エル・カバヤ株式会社 生産管理部 SXL設計課
金光(大崎) 寛葵



5月14日

カバヤ食品株式会社 岡山工場生産二課第一係
小野 修司



5月20日

エス・バイ・エル・カバヤ株式会社 SXL RSK第一展示場
原田 蓮



6月14日

オハヨー乳業株式会社
マーケティング・業務戦略本部 マーケティング・業務戦略室
平井 真生



7月11日

エス・バイ・エル・カバヤ株式会社 カバヤホーム水島店
藤原 亨



11月22日

株式会社イケダベツファーム 京山店
大倉(藤川) 麻衣子

2月2日

オハヨー乳業株式会社 本社第一工場 処理係
藤本 義人

2月28日

オハヨー乳業株式会社 関東第一工場 飲料処理係
厚美 博之

4月23日

オハヨー乳業株式会社 関東第一工場 ヨーグルト充填係
柴山 喜彦
オハヨー乳業株式会社 関東第一工場 ヨーグルト充填係
柴山(萩野谷) 仁美

7月7日

オハヨー乳業株式会社 関東第二工場 処理係
谷野 竜太郎

7月11日

エス・バイ・エル・カバヤ株式会社 経理部
田邊 佑樹

10月13日

オハヨー乳業株式会社 関東第二工場 充填係
根岸 貴大

11月23日

専門学校岡山情報ビジネス学院 事務局広報室
下村(今田) 美希子

11月27日

株式会社イケダベツファーム 姫路店
大谷(居戸) 麻美

BABIES



さえか
冴華ちゃん

オハヨー乳業株式会社
九州支店 営業一課
奈良輪 健



そうすけ
奏祐ちゃん

オハヨー乳業株式会社
マーケット・バリュー戦略本部
研究開発室 研究・開発二課
阿江 秀和



えいすけ
瑛涼ちゃん

オハヨー乳業株式会社
東北支店 営業課
田中 景涼



のぞみ
希ちゃん

オハヨー乳業株式会社
関西支店 営業二課
真光 峰稔



しょうへい
祥平ちゃん

オハヨー乳業株式会社
関東第一工場 飲料充填係
藤本 考平



さなみ
紗南ちゃん

オハヨー乳業株式会社
マーケット・バリュー戦略本部
研究開発室 研究サポート課
西平 君加



ゆうせい
悠正ちゃん

オハヨー乳業株式会社
本社第二工場 充填係
松井 亮



そうま
想真ちゃん

オハヨー乳業株式会社
関東第一工場 アイス充填係
酒井 公貴
オハヨー乳業株式会社
関東第一工場 アイス充填係
酒井 友香里



いつき かえで
樹ちゃん・楓ちゃん

オハヨー乳業株式会社
関東第二工場 充填係
草野 宗一郎



らいき
頼輝ちゃん

オハヨー乳業株式会社
本社第二工場 充填係
植村 由衣



とうま
翔聖ちゃん

オハヨー乳業株式会社
関東第一工場
ヨーグルト充填係
大津 梨花



のか
望加ちゃん

オハヨー乳業株式会社
マーケティング・業務戦略本部
受注センター・アイス課
長田 稜
オハヨー乳業株式会社
マーケティング・業務戦略本部
マーケティング・業務室
長田 亜佑



まご
真子ちゃん

オハヨー乳業株式会社
長船工場 充填係
山本 宜孝
オハヨー乳業株式会社
品質管理課
山本 恭子



かける
翔ちゃん

オハヨー乳業株式会社
関東第一工場
ヨーグルト充填係
白石 順子



けいすけ
啓佑ちゃん

カバヤ食品株式会社
関東工場品質管理課
濱田 康郎



せいじ
聖司ちゃん

カバヤ食品株式会社
マーケット・バリュー戦略本部
研究開発室
廣井 良伸



れんと
蓮都ちゃん

カバヤ食品株式会社
品質管理部 品質管理課
井上 義隆



りんか
凜花ちゃん

カバヤ食品株式会社
高松支店営業課
上垣内 崇



いつき
一槻ちゃん

カバヤ食品株式会社
仙台支店営業課
山田 剛史



ともゆき
智之ちゃん

カバヤ食品株式会社
マーケティング・業務戦略本部
事業戦略室
池野田 幸一



ゆあ
侑亜ちゃん

カバヤ食品株式会社
関東工場工務課
金子 翔丸
カバヤ食品株式会社
関東工場生産一課生産二係
金子 亜里沙



すずか
鈴夏ちゃん

カバヤ食品株式会社
マーケティング・業務戦略本部
事業戦略室
小野 亜紀



ゆうた
侑汰ちゃん

カバヤ食品株式会社
岡山工場生産二課第一係
西岡 孝志
カバヤ食品株式会社
岡山工場生産二課第二係
西岡 崇子



そうすけ
湊介ちゃん
カバヤ食品株式会社
関東工場生産技術課
新井 祐介
カバヤ食品株式会社
関東工場生産二課生産一係
新井 有紀



えいか
永夏ちゃん
カバヤ食品株式会社
関東工場生産二課生産一係
笠井 純



はるき
春希ちゃん
カバヤ食品株式会社
大阪支店営業三課
八木 明子



ここな
心愛ちゃん
エス・バイ・エル・カバヤ株式会社
玉野展示場
本村 直輝



じょう
文生ちゃん
エス・バイ・エル・カバヤ株式会社
生産管理部 カバヤホーム設計課
泉 佳代子



はるか
葉瑠花ちゃん
エス・バイ・エル・カバヤ株式会社
工事部 工事3課
塩見 涼子



れいら
怜來ちゃん
エス・バイ・エル・カバヤ株式会社
カバヤホーム岡山中央店
宮本 大生



さとみ
聡美ちゃん
エス・バイ・エル・カバヤ株式会社
工事部 工事2課
白髪 佑規



みなと
湊士ちゃん
エス・バイ・エル・カバヤ株式会社
カバヤホーム城東店
井澤 賢太郎



けんたろう
健太郎ちゃん
エクセルバック・カバヤ株式会社
生産部製函課
森脇 真希

ともなり
智誠ちゃん
エス・バイ・エル・カバヤ株式会社 生産管理部 工務課
岡崎 宰道

はやと
颯人ちゃん
エス・バイ・エル・カバヤ株式会社 カバヤホーム総社店
大島 史聖

りゅうのすけ
龍之介ちゃん
エス・バイ・エル・カバヤ株式会社 SXL山陽新聞住宅展示場
北山 香奈

つむぎ
紡希ちゃん
専門学校岡山情報ビジネス学院 教務部
鳴坂 圭介

乳酸菌の事業提携に関する契約締結



▲基弘社長と握手するバイオガイアAB社のアクセル・ショーブラッド代表取締役社長と
バイオガイアジャパンの野村慶太郎代表取締役社長

オハヨー乳業は、昨年12月5日、スウェーデンのヘルスケア企業バイオガイアAB社とL.ロイテリ菌を使用したプロバイオティクスサプリメントの独占販売契約および飲料や乳製品の原料として使用するライセンス契約を締結しました。

バイオガイアAB社は、1990年の設立以来、世界90の国と地域で、医療・健康に携わる企業や機関に販路を持つプロバイオティクス専門メーカーです。オハヨー乳業は、独自の乳酸菌「L-55乳酸菌」について、岡山大学と共同で研究を進めるなど保健機能の研究に取り組んでいますが、今後はヘルスケア領域における商品開発をより一層推進し、「医と食のバランスを変える事業」の強化に取り組んでいきます。L.ロイテリ菌を使用した商品の発売は、2017年を予定しています。

取引先ゴルフコンペ「共栄会」「盛運会」「清友会」開催



カバヤ食品、フジ物流、オハヨー乳業は昨年10～11月に、ザ・ロイヤルゴルフクラブで、取引先を招いてのゴルフコンペを開催。延べ250人が参加し、戦略性に富んだ美しいコースを体感してもらいました。

プレー前日は、ホテルの会場で懇親会を開催。当日は各グループ社員がラウンドする各組に入って一緒にプレーし、新しいゴルフ場の良さをアピールしました。ショートホールでは、元ツアープロゴルファーでザ・ロイヤルゴルフクラブ副支配人の新崎弥生さん、昨年プロテストに合格した松田一将さんと対決するニアピンコンテストを開き、コンペを盛り上げました。多くの参加者は「ぜひ、またザ・ロイヤルゴルフクラブでラウンドしたい」と話しており、イベントは大成功となりました。

苔玉盆栽づくりイベント開催



カバヤ食品、オハヨー乳業、エス・バイ・エル・カバヤの共同コミュニティサイト「Caramel milk house」の主催イベント「Let's try Vol.1 苔玉盆栽を作ろう!」が昨年12月3日、ターミナルスクエアで開かれました。

コミュニティサイトの認知度アップとサイト会員の満足度を高めるのを目的に企画したイベント。苔玉盆栽づくりは、香川大学の学生らで組織する「Bonsai☆Girls Project」のメンバーが講師を務め、材料は岡山市の老舗園芸店、錦楽園が手配しました。参加者は約20人。終始なごやかな雰囲気、手作りの苔玉を思い思いに飾り付けました。

盆栽作成後は「茶話会」を開催。オハヨー乳業のドリンクヨーグルトやカバヤ食品のお菓子を食べながら、盆栽ガールズのメンバーらと交流を深めました。イベント終了後、参加者全員の満足そうな笑顔が印象的でした。

「Caramel milk house」では、これからもグループ会社と消費者との交流の場を増やし、イベントやアンケート、掲示板を通じてアンバサダー獲得に向けた活動を続けていきます。

ANAオリジナル番組「Innovative Minds」でザ・ロイヤル ワールドプロジェクトの取り組みを発信!

●国際線…11月～2月放送

●webサイト…12月～1月

●「ALL for ONE」について

膨大な情報があふれる社会で、今、本当に伝えたい事を切り取りインパクトを以って皆に伝える。

同時に、3000人の従業員一人ひとりに焦点を当てて皆で支えていく、そのために発行したのが ALL for ONEです。

現場の意見や解決したい問題など、
誹謗中傷以外、全て受付ています。

日本カバヤ・オハヨーホールディングス

社長室 担当:北山

Fax: 086-231-4783

Mail: info@kabaya-ohayo.jp

編集後記

日本カバヤ・オハヨーホールディングスの設立披露パーティーが昨年12月5日に開催されました。有名企業の経営者らそうそうたる顔ぶれが出席。多くが基弘さんのあいさつに共感し、異口同音に「日本の未来のため、世界に誇れる商品、サービスを提供してほしい」と話していました。グループ会社の一員として、身の引き締まる思いと同時に、グループ存在目的の下、個人としてやりたい仕事をスタートさせるぞというワクワクした気持ちで紀尾井町オフィスに戻りましたが、社内には終わったことでの安堵感が漂っていました。我々はまだ何も成し遂げていません。スタートラインに立ったに過ぎないのです。披露パーティーで我々の中・長期経営計画の方向性は公になりました。もはや後戻りはできません。「真の欲求を究めて、ホンモノをカタチにする」ため、社員一人ひとりが世界を相手に本気の勝負をする気概を持たなければなりません。(細川)

日本カバヤ・オハヨーホールディングス株式会社

本 社 住所 岡山市北区駅元町1-4 ターミナルスクエア11階
電話 086-223-7131
東京本社 住所 東京都千代田区紀尾井町3-12 紀尾井町ビル10階
電話 03-3222-7311
Website <http://kabaya-ohayo.com/>

オハヨー乳業株式会社

本 社 岡山市中区神下565
電 話 086-279-1231
Website <http://www.ohayo-milk.co.jp/>

カバヤ食品株式会社

本 社 岡山市北区御津野々口1100
電 話 086-724-4300
Website <http://www.kabaya.co.jp/>

エス・バイ・エル・カバヤ株式会社

本 社 岡山市北区中仙道2-9-11
電 話 086-241-8811
Website <http://www.sxl-kabaya.co.jp/>

フジ物流株式会社

本 社 瀬戸内市長船町長船1177-2
電 話 0869-66-0222
Website <http://www.fujibutsuryu.jp/>

エクセルバック・カバヤ株式会社

本 社 岡山市中区雄町394-12
電 話 086-279-8900
Website <http://www.exl-kabaya.co.jp/>

株式会社イケダペットファーム

本 社 東京都千代田区紀尾井町3-12 紀尾井町ビル10階
電 話 03-5275-0883
Website <http://www.ikedabokujou.co.jp/>

東京レジャー開発株式会社

本 社 東京都千代田区紀尾井町3-12 紀尾井町ビル10階
電 話 03-5275-0922
Website <http://tokyo-leisure.jp/>

株式会社システムメイト

本 社 岡山市北区芳賀5325-1 岡山リサーチパーク9-1
電 話 086-286-9131
Website <http://www.system-mate.com/>

株式会社スクエアビル

本 社 岡山市北区駅元町1-4 ターミナルスクエア11階
電 話 086-224-0371
Website <http://www.square-building.com/>

株式会社瀬戸内海経済レポート

本 社 岡山市北区西島田町8-9
電 話 086-805-6188
Website <http://www.visionokayama.jp/>

トータルアシスト・カバヤ株式会社

本 社 岡山市北区下石井2-1-3 岡山第一生命ビルディング11階
電 話 086-235-4422

三友学園グループ

専門学校岡山情報ビジネス学院
住 所 岡山市北区駅元町1-4 ターミナルスクエア1階、3～12階
電 話 086-224-2336
Website <http://www.oic-ok.ac.jp/>

クラーク記念国際高等学校 岡山キャンパス

住 所 岡山市北区島田本町1-2-12
電 話 086-239-1623
Website <http://clark.oic-ok.ac.jp/>

希望高等学園

岡山校 住所 岡山市北区幸町9-1 幸町会館4階
電話 086-232-8135

津山校 住所 津山市大手町11 みつやビル2階
電話 0868-35-2380

Website <http://www.oic-ok.ac.jp/kibou/>

日本カバヤ・オハヨーホールディングスグループ

Corporate Communication Magazine "ALL for ONE" Vol.7

発行：2017年1月5日
制作：「ALL for ONE」編集部
〒700-0981 岡山市北区西島田町8-9
(株)瀬戸内海経済レポート内 ☎086-805-6188 FAX 086-805-6177